

# 奄美大島・喜界島農業の動き

■令和6年6月

## 1 奄美大島全5市町村で柑橘夏季講習会を実施！

6月10日から25日にかけて、奄美大島島内全5市町村の各園地で柑橘夏季講習会が開催されました。表年を迎えているたんかんだけでなく、前年やや階級を落とした津之輝についても『強気の摘果』を合言葉に、樹冠裾部を重点箇所、小玉果や近接果等を具体的に取り除く実演を行いながら早急な不要果実の徹底除去を呼びかけました。今後、関係者も含めて、各地での摘果の実施状況を確認した上で、産地全体で望ましい着果管理の励行を求めていくこととしています。



奄美市での講習会



龍郷町での講習会



大和村での講習会

## 2 瀬戸内町のパッションフルーツ収穫開始・味は良好！

6月10日、瀬戸内町阿木名地区で、瀬戸内パッションブランド産地協議会主催の出発式が開催され、本格的な収穫が開始しました。生産量は前年度比4.7 t 減の33.8 t を見込み、日照不足等の影響で減産が予想されます。6月17日には、せとうち物産館で品質調査を行いました。主品種ルビースターの平均糖度18.1度、平均酸度2.43%で、品質は良好でした。6月24日にはPRを目的に、大島支庁長へパッションフルーツの贈呈を行いました。支庁長が試食をしたところ、大変好評でした。



出発式の様子



展示されたパッション



品質調査 1



品質調査 2



大島支庁長へのパッション贈呈



試食風景

### 3 奄美市パッションフルーツ品評会が今年も盛大に開催！

6月18日、大島支場で奄美市のパッションフルーツ品評会が開催され、全部で17点の出品がありました。玉揃いや色づき、障害、糖度、酸度など各項目別に審査し、金賞・銀賞・銅賞に選出された3名の生産者に直接賞状が授与されました。当日は生育不良対策に関する講習会も開催されました。今期は春以降の不安定な天候で開花遅延や着果不良で苦慮される生産者が多い中、例年を超える水準の出品物が揃いました。梅雨明け後の対応も含めて気を緩めず、最後まで品質管理に努めてもらいたいです。



受賞者



外観審査のようす



内容審査のようす

#### 4 『奄美市たんかん塾』開講！

高齢・兼業農家や新規就農者等のたんかん生産従事者の技能アップを目的に、令和4年度から瀬戸内町、喜界町で行われてきた『たんかん塾』。

6月19日に、今年の開催地である奄美市の農業研究センターに約60名が集まったの開講となりました。1回目の講座では、たんかん栽培の心得、基礎生理、摘果作業について詳細なスライドでの解説が行われました。全3回の講師は普及指導員が務めますが、これまでの経験と積み重ねてきた叡智の全てを結集した最高の講義を行う所存です。



開講式



講義のようす1



講義のようす2